



ロータス林のわくわく通信 2月



2月 (FEB) FEBRUARY

2月は如月(きさらぎ)と呼ばれますが、その由来には数々の説があります。

最も有力な説は寒さがまだ厳しく、衣替えの時期に衣更替着という説です。

その他にも寒い冬から春に向かつて草木が更生する「生更木」という説や、陽気が発達する時期であることから「気更来」という説もあります。

また2月上旬からは一足早く春の匂いを告げる梅の花が楽しめますね。梅の花が終わったあとは、スイセン→サクラ→菜の花→チューリップ→れんげ→ツツジ→ボタン→花シヨウブ→あじさい→ダリア→ひまわり→コスモス→彼岸花と続く日本の四季は本当に美しいと思います。

こんな風に考えると、今年一年も例年と同じくものすごい勢いで、あつという間に過ぎ去るようになってしまう。春はもうすぐです。さあ今月も頑張ろう！



庭師さかえちゃんの花カレンダー

◆フリージア・・・花言葉(純潔・無邪気)

小さなユリのような花が並んで咲くかわいらしい姿で早春(2月~3月)を楽しませてくれます。

植付けは秋に行います。アヤメ科の植物は連鎖を嫌いますから、前年にアヤメ科の植物を栽培した場所を避け、毎年植え場所を変更します。ちょっぴりお疲れモードのこの季節、この花はあなたの気持ちを和ませてくれますよ。



林家の裏ワザ

タマネギを切っても涙が出なくなる方法!

いつもタマネギを切ると自然と涙が出てきてしまいませんか?

そんな時涙を出なくさせる方法があります。

両方の鼻の穴にティッシュを丸めて詰めるだけでOKです。

涙の出る現象は目に刺激がきて涙が出るのではなく、鼻から刺激が入り涙が出るんです。

格好はブサイクですけど、ぜひ試してみてください。



なっちゃんのお競馬へ行こう! コーナー



「負けるたびに人気」の馬、サラブレッドの《ハルウラフ》のレースを観に、一月二日、高知競馬場へ行ってきました。

8歳の牡馬、ハルウラフは一九九八年九月に北海道三石町から高知へ。同十一月にデビュー、初戦は5頭中5着、2戦目も6頭中5着、その後も見せ場の作れないレースで、これまで2着4回、3着6回を含め賞金の対象となる5着以内は三十四回入ったのに、まだ1着になった事はありません。

未勝利が続くと本来は引退のところ、父が天皇賞馬ニッポンテイオーという血統と、ほぼ月2回のペースで出走できる《無事これ名馬》ぶりと《出るど負け》の繰り返し次第に話題となり、今ではニンシン・リンコ等の差し入れが殺到するまでに...

ファンレターも多く「人生で一等をとった事はないがハルウラフと共に頑張る」「落ち込んでいる時あの頑張りを見て勇気付けられた」などファンが熱い思いを寄せています。

普段は人もまばらな高知競馬場なのに、その日はハルウラフの100戦目のレースを観に、なんと8千人の人が。当たらない馬券が交通事故のお守りなるといって欲しかったのに、馬券も長蛇の列で買えず、ハルウラフグッズも早々と完売状態。

もはや絶望的と思いつつ場内をトボトボ歩いていると《岡林食堂》で【カツ丼・カツカレー】をご注文の方にハルウラフの写真をプレゼント【】の文字が...

すぐ中に入り注文するところでも「申し訳ございません。完売です」...。それでも引き下がる「お食事代は払うので写真を譲ってもらえないでしょうか?」と交渉中、カメラマンの人が丁度店内へ入ってきて何故か「お要り用でしたらどうぞ差し上げます。」とA4サイズの写真を下さいました。

その写真はトレードマークのキティちゃんのマスクが前を走る馬の蹴り上げる土で泥まみれになり(強い馬は前を走っているので顔は汚れない)それでも一生懸命走っているレース中のハルウラフの姿で感動しました。

私は年間百頭あまり処分される馬のうち一頭でも自分ちで飼えないかと思案するほど馬が大好きで賭けなくてもエキサイトするタイプ。10頭の馬が目の前を駆け抜けて行く時の姿と迫力にドキドキしながらストレスを発散させています。

ちなみにその日のレースは10頭中7着、続く一月十一日のレースは100着で100戦連敗になってしまいました。ガクッ!

サラリーマンの釣ルゴール

「釣ル」



▼腰かけの つもりが今じゃ命がけ

▼指示どおり 出来るものならやっています

▼着メロは サビの部分も聞いて出る

▼国内の 旅行に変えたから見栄をはり

▼振り向けば かわいい着メロ出る上司

▼綺麗より 上手と言われるこの化粧

▼またきたわ 寿印の請求書

いかがでしたか? 次回の川柳もお楽しみに!

喜多やんの自動車コラム



車のタイヤが空回りして抜け出せなくなった時に抜ける方法!!

ぬかるんだ道や砂の道、その他にも雪道などでタイヤが空回りして抜け出せなくなってしまった事はありませんか? 実は簡単に抜け出せる方法があるんですよ。

方法は、タイヤの30%~50%くらいの空気を抜きます。抜き方は簡易でタイヤについているキャップ(ムシともいいます。)を外し細い棒でつつけば空気が抜けていきます。タイヤは少しペッチャンコになります。接する面が広くなり空回りしずらくなります。

ただし、抜け出せた後は、できるだけ早めにタイヤの空気を元に戻すようにしましょう。

空気圧の少ないまま走り続けるとパンクの原因になります。

(株)林自動車

〒770-0012 徳島市北佐古2番町4-44
TEL: 088-631-6685
FAX: 088-631-5151
URL: http://www.lotas-hayashi.co.jp
E-mail: info@lotas-hayashi.co.jp



車のことなら何でもおまかせ! 日曜日も元気に営業中です!!